

OTC薬、プライマリケアを対象とする

「薬剤師の臨床判断ワークショップ2018」

対象症候『腹痛』

入門コース：2018年 6月17日（日） 13:00～18:00 （12:30 受付）

（会場）昭和大学 旗の台キャンパス 1号館5階 会議室A・B・C 等（東京都品川区）

ワークショップ2018の企画のポイント

亀井 大輔（昭和大学 薬学部 准教授）

薬局にて、「腹痛」を訴える患者が来局されたとき、患者の安全性、医薬品の適正使用、そして症状の改善・緩和につながる対応に悩んだ経験はありませんか？

本プログラムは、薬局でのプライマリケアを担うにあたり、様々な患者情報や基本的知識に基づく臨床判断、判断に基づく医療の実践、そして症状の改善・緩和につなげるフォローや情報共有等、必須となる能力を効率的に修得できる研修プログラムです。

本年度は、昭和大学薬学部生涯研修プログラムとの共催で実施することで、参加費の割引（3000円）と研修時間を短縮し、より多くの方が参加し易いように変更しました。アプライド・セラピューティクス（実践薬物治療）学会『OTC薬、プライマリケアを対象とする薬剤師の臨床判断ワークショップ認定指導者制度』の研修となっています。

ワークショップの内容は、従来通り、参加体験型のアクティブ・ラーニングにより、これまでに薬剤師として身につけた能力を系統的に整理しながら、ほんの少しの新たな知識・技能を加えることで、プライマリケアを担うための必須の能力が効率的に修得できるよう工夫がなされています。

また、今回は対象症候を「腹痛」とし、具体的な症例/事例を交えながら、すぐに使える実践的な能力を養成します。是非、この機会にご参加して頂けたら幸いです。

入門コースを企画して

木内 祐二（昭和大学 医学部 教授）

地域におけるプライマリーケアの重要な担い手である薬剤師が、症状や健康の不安を訴える来局者の相談に応じて、適切な対処法を選択して提案・実践（トリアージ）するためには、臨床判断の能力を修得することが必要です。

本ワークショップでは、臨床判断能力の習得のため、日常的に遭遇する機会が多い「腹痛」を訴える来局者を例に、①症候を生じる疾患とその特徴の理解、②効果的な情報収集と疾患の推測、③疾患や重症度に応じた適切な対処法のトリアージ、の3つのプロセスについて、グループ討議とロールプレイを交えた参加型セミナーの形で楽しく学習する研修プログラムです。臨床判断とトリアージのプロセスを時間をかけて討議し、「健康サポート薬局」を担う薬剤師として、求められる能力を確実に修得してもらいたいと期待しています。本ワークショップで、プライマリーケアの担い手としての実践的な能力を養成して頂き、少しでも日々の業務に反映して頂けたら幸いです。

申し込み方法

（注意）本年度は、昭和大学薬学部生涯研修プログラムとの共催のため、以前の申し込み方法から変更しています。ご注意ください。

昭和大学薬学部ホームページ『薬剤師生涯研修認定制度 2018年度生涯研修プログラム 日程・内容』にアクセスし、申込フォームにて事前登録をお願いします。

http://www.showau.ac.jp/sch/pharm/lifelong_learning/prog/20180617.html

参加費は事前振込にてお支払いをお願い致します。振込口座・振込期日は、事前登録後、事務局よりメールにてご連絡いたします。

なお、事前登録は下記の申し込み用 QR コードからアクセスして頂くと便利です。ご利用下さい。



以上